人間を救うのは、人間だ。

講習会のお知らせ

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 開催を中止させていただく場合があります。

■ 救急法基礎講習:1日コース

心肺蘇生やAEDを用いた除細動などが学べます

2/17(水)・3/7(日) 日赤富山県支部 9:00~16:30

指導員派遣 短期講習(目安60分の講義形式となります)

- 法:一次救命処置とAEDの使い方、搬送の方法や三角巾を使っ た固定の仕方について
- ◆水 上 安 全 法:服を着たまま水に落ちた時や溺れた人を助ける時の対処 について
- ◆幼 児 安 全 法:子どもの事故や病気の手当て、一次救命処置やAEDの使 い方について
- ◆健康生活支援講習:寝たきりにならないための病気の予防や健康管理、車椅子 の使い方・衣服の着脱・食事の介助、介護について
- ◆災 害 教 育:災害時の備えと避難所での生活について(エスノグラフィー やDIGで自分たちに出来ること)
- ◆新型コロナウイルス3つの顔を知ろう~負のスパイラルを断ち切るために~ 新型コロナウイルス感染症に対する不安が広がる中、今一度、私たちがすべ き行動を考えます
- ●電話で、開催希望日時・希望内容・受講者人数・会場をお知らせ下さい。
- ●派遣は、受講者が10名以上の場合とさせていただきます。
- ●指導員の手配や資材の数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。

受講のお申し込みやお問い合わせ先 日本赤十字社富山県支部 事業推進課 TEL 076-451-7878 http://www.toyama.jrc.or.jp/(ホームページから申し込みができます)

街頭献血のお知らせ ★お昼時間は受付をお休みします。 ★日程は都合により変更することがあります。

7日(日) イオンモールとなみ 9:00~12:00 13:20~16:00 7日(日) アル・プラザ小杉 10:00~12:00 13:15~16:00 11日(木) イオンモール高岡 14日(日) ファボーレ 21日(日) ファボーレ

10:00~12:00 13:15~16:30 23日(火) イオンモール高岡 27日(土) イオンモール高岡

28日(日) ファボーレ

去十个工

みんなで考えよう



富山市立熊野小学校5年生(青少年赤十字加盟校)

日本赤十字社は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、 学校や地域、団体でご活用いただける教材「新型コロナウ イルスの3つの顔を知ろう!~負のスパイラルを断ち切るために ~」を作成しました。

正しい知識と判断で負のスパイラルを断ち切り、みんなで 乗り越えるため、この教材を授業に取り入れた学校があります。



授業を終え た児童からは、 「休んだ人の 気持ちに寄り 添って一緒に がんばっていき たい」や「医療 従事者のみな

コロナウイルスとは何か? コロナウイルスでどんな危険があるのか? 自分たちにはどんなことができるのか? 「気づき」「考え」「実行する」

さんに感謝の気持ちを伝え たい」「差別を少しでも無く したい」などの感想が寄せ られました。

新型コロナウイルスによ る感染(病気)とともに問

題視されたのは、感染者やその家族、医療従事者などに対 する差別や偏見です。ともに寄り添い、励まし合い、乗り切 れるよう今後も日本赤十字社は取り組んでいきます。

6日(土) イオンモール高岡 7日(日) ファボーレ

7日(日)アピタ富山東

14日(日) イオンモール高岡 20日(土) ファボーレ

21日(日) ショッピングア・ミュー 27日(土) イオンモール高岡

28日(日) ハッピータウン氷見店

10:00~12:00 13:15~16:30 9:30~12:00 13:15~16:00

10:00~12:00 13:15~16:30

令和3年2月1日

9:30~12:00 13:15~16:00 10:00~12:00 13:15~16:30

9:30~16:00

◆ 上記以外の献血会場

マリエ献血ルーム

富山市桜町1-1-61 マリエとやま6F 電話 076-445-4500

受付時間は、10:00~12:00 14:00~18:00 お問い合わせ先

富山県赤十字血液センター TEL 076-451-5555 https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/toyama/



就血にご協力いただく方の

新たな健康診断基準が定められました

日本赤十字社では、献血者等の保護を図るため に必要な規制を定める「安全な血液製剤の安定供 給の確保等に関する法律(血液法)」に基づき献 血を実施しております。

この度、令和2年9月1日に法律が改正され、 健康診断基準が新たに定められました。

皆様には引き続き献血へのご協力をよろしくお 願いいたします。

最高血圧 90mmHg以上179mmHg以下

最低血圧 50mmHg以上109mmHg以下

40回/分以上100回/分以下

体温 37.4℃以下



日本赤十字社 富山県支部 T930-0821 富山市飯野26-1 TEL:076-451-7878 FAX:076-451-6872 URL http://www.toyama.jrc.or.jp/

Japanese Red Cross Society

令和3年2月1日 赤十字とやま 令和3年2月1日 NO.36 赤十字とやま NO.36

富山赤十字看護専門学校 126年のあゆみ

富山赤十字看護専門学校は、1895 (明治28) 年に看護婦養成を始めてからこれまで、時代の 要請に応えながら看護教育を実践し、多くの卒業生を輩出してまいりましたが、令和3年3月31日を もって閉校することとなりました。

日本赤十字準備看護婦養成所設置

富山赤十字看護専門学校の歴史

◆沿革

1887年(明治22)	日本赤十字社富山県委員部設置	明治32年に定めた濃紺の制服→
1889年(明治27)	日本赤十字社富山支部と改称 その後看護婦養成所を設置することを条件に富山県支部と改称	
1895年(明治28)	市立富山病院内に日本赤十字社準備看護婦養成所として発足する (明治26年の京都・広島・大阪、27年の愛媛に次ぐ5番目、徳島・奈良	の設立と同じ年)
1901年(明治34)	大日本私立衛生会富山県支会が市立富山病院内に産婆養成所を設置	は、委嘱(富山県の産婆生徒養成の最初)
1907年(明治40)	日本赤十字社富山支部病院の設立と同時に正式に全国で5番目の日富山支部病院救護看護婦養成所となる 大日本私立衛生協会富山県支部より産婆養成を受託する	日本赤十字社
1931年(昭和6)	内務省の指定を受け、財団法人富山県衛生協会産婆養成所と改称す	3 000000
1939年(昭和14)	臨時救護看護婦養成(一般の看護婦の有資格者に3か月の特別教育	e) + 1 th toward
1941年(昭和16)	乙種救護看護婦養成(2年間の修業年限) 1944年~1947年 養護訓導(現在の養護教諭)の養成指定	旧制度42回生卒業生(昭和18年)
1945年(昭和20)	戦災により養成施設・寄宿舎・支部・実習病院ともに焼失し授業一時	寺中断する
1946年(昭和21)	富山赤十字病院助産婦養成所として移管 昭和26年3月養成廃止	
1948年(昭和23)	富山赤十字看護学院と改称	
1950年(昭和25)	保健婦助産婦看護婦法(昭和23年)に基づく養成施設として指定 富山赤十字高等看護学院と改称	
1951年(昭和26)	富山赤十字高等看護学院が、学校教育法により私立各種学校に指定	
1968年(昭和43)	校舎·寄宿舎移転新築	
1976年(昭和51)	保健婦助産婦看護婦法ならびに学校教育法に基づき、富山赤十字看護専門学校と改称する	
1994年(平成 6)	専門士称号の付与に関する規定(平成6年6月文部省告示第84号)の制定 平成6年度卒業生より専門士称号授与	
1995年(平成7)	日本赤十字社看護婦養成規則の改正	
1996年(平成8)	寮閉鎖 保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の改正 移転新築	
2002年(平成14)	副学校長を置く赤十字看護専門学校の指定を受ける 保健婦助産婦看護婦法から保健師助産師看護師法に改正 看護婦·看護士を看護師と名称変更	
2018年(平成30)	募集を停止	
2021年(令和3)	3月閉校	

◆全養成数(明治28年~令和3年3月卒業見込み者含む卒業生及び修業者・聴講生)合計3,554名

救護看護婦 (M28入学~S27卒) 旧 1~49回生 773名 看護婦(師) (S28卒~R3卒) 新 1~69回生 1,701名 (M34入学~S26卒) 旧 1~23回生、新1~20回生 産婆·助産婦養成 564名 (S16入学~S22卒) 1~5回生 289名 乙種看護婦養成 1~9回牛 臨時救護看護婦養成(S14~S22) 227名



◆校舎の変遷



◆思い出

赤十字演習 (災害救護訓練)







戴 帽 式







卒 業 式









◆ナイチンゲール記章(功績顕著な看護師に授与される世界最高の栄誉あるメダル)受章者



旧7回生 大野ヨリ氏 昭和8年 第7回



旧28回生 作本シズヰ氏 昭和62年 第31回





21回生 惣万佳代子氏 平成27年 第45回

おわりに「感謝」

書ききれないたくさんの出来事が積み重ねられ、歴史と伝統となって今日に至っており、豊かな人間性を育み、常に新しい時 代の人々のニーズに応える教育であったと思います。惜別の想いとともに、これまで支え育んでくださった多くの皆様方に感謝 の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。 (教職員一同)